

社会福祉法人 本郷の森 令和2年度 事業報告書

『サポートセンターいちょう』(指定特定相談支援)

コロナ禍で、4月・5月は電話でのモニタリングを中心に、会議は軒並み中止となったが、6月から通常の忙しさに戻っている。計画相談が認知され、保健師・社協など関係機関からの依頼が多く、通常のサービス以外の支援が必要なケースの相談(経済的なこと、新たな住まい探し、障害年金申請、制度手続きの同行、サービスに対する苦情)が増え、10・11月は予定していたモニタリングが滞ってしまうなど予定が追い付かない状態が続いた。そのため、12月以降は法人外の新規は断っている。とくに通院同行のヘルパーが見つからず、計画で担うことになると半日以上の時間を要するため、業務に支障が出る状況が大きな課題であった。2月は、就労している利用者が退職し、B型を利用するための計画作成が続いた。動きのあるケースに支援を注ぐ一方で、落ち着いて生活されている利用者のモニタリングができないことが多々あり、課題となっている。

法人の通所・ホームを利用している方の計画では、スタッフから相談があり、一緒に解決や検討することで、支援の抱え込みを避けることや拠点と連動するケースもあり、今後の法人内のスタッフとの連携を強化するための良い活動ができていた。

I. 利用登録者状況

(1) 利用登録者

	4月	3月	特記事項
登録者数	91	102	サービス終了されている方は除く ※昨年度末の登録数:91名
男性	64	68	-
女性	27	34	-
区民	76	87	区民は全体登録者の約85%

- ・文京区外では、江東区(新)、江戸川区、葛飾区、北区、豊島区、大田区、台東区、足立区、春日部市の方。
- ・他区の方は継続ケースがほとんどであり、区内でも新規は12月から断っている。
- ・軽度知的障害での支給は2名。
- ・サービス終了は7名。

(病死2名、就職1名、退職1名(後に別サービスで再導入)、中断2名(地域生活支援拠点に引き継ぎ)、終結1名)

(2) 新規詳細 (※令和元年度の新規登録者数22名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	1	2	2	2	2	1	2	0	2	1	1	17

- ・再導入は2名(就労定着支援、退職後のB型利用)。
- ・マンパワー不足のため、12月からは基本的に法人外の新規は断っていた(法人外6名)。
- ・拠点の相談者がサービス利用を希望したため、計画作成するケースもあった(B型1名・ヘルパー1名)。

(3)利用している福祉サービス

サービス内容(法人外)	人数(法人内)
A 型事業所(2 か所)	2
B 型事業所(8 か所)	62(51)
就労移行事業所(4 か所)	7(2)
自立生活援助	1
就労定着支援(4 か所)	11(7)
自立訓練(生活訓練)	1
グループホーム(5 か所)	10(6)
居宅介護(7 か所)	32(13)

※併用しているケースあり

- ・傾向は例年通り。
- ・居宅介護を利用していたが、利用者本人ができることが増えて部屋が片付き、これからは自分でやりたい希望があるなどで利用を終了しているケースがあった。
- ・就労継続がうまくいかず B 型を再利用するケースがあった。

Ⅱ. 作成数や動き

(1)動き

	計画	モニタ	合計	面談・訪問	ケア会議・連携	同行	合計	TEL
4 月	3	5	8	15	4	8	27	104
5 月	6	13	19	21	2	4	29	109
6 月	3	12	15	32	4	1	37	89
7 月	6	17	23	46	12	6	59	76
8 月	6	8	14	36	7	6	49	95
9 月	8	10	18	37	7	7	49	115
10 月	6	14	20	50	10	14	74	145
11 月	10	11	21	45	2	10	57	68
12 月	5	13	18	31	4	6	40	81
1 月	5	18	23	42	5	4	51	118
2 月	13	11	24	34	2	10	46	101
3 月	10	11	21	40	4	4	48	61
合計	81	143	224	429	63	80	572	1162

※最終ページ令和元年度の動き参照

- ・コロナウイルスの影響で、4～6 月は動きが少なくなっている。電話でのモニタリングも行った。
- ・マンパワー不足により、動きのあるケースの対応に追われ、安定している方のモニタリングの優先度が低くなってしまい、モニタリングが滞ってしまっている現状がある。

(2)支援内容

通常の計画作成やモニタリング以外にも、生活支援や家族全体に係る支援が増えている。

- ・家探し、引越しの支援
- ・通院同行
- ・退院支援
- ・手続きのサポート
- ・生活困窮の支援
- ・障害年金申請のサポート

Ⅲ. 会議・研修

(1) 会議

①相談支援事業所連絡会

日程	参加者	日程	参加者	日程	参加者
6/26 行政	2名	9/25 事業所のみ	1名	3/26 事業所のみ	1名
7/31 事業所のみ	1名	1/22 事業所のみ	1名		
8/28 行政	1名	2/26 行政	1名		

コロナウイルスの影響で全てオンラインでの開催となっている。コロナウイルスの状況下での計画相談の動きや対応を行政と共有している。後半は、次年度の報酬改定についての共有をしている。計画相談に補助をとの話も少し話題に出たが立ち消えている。拠点に相談支援専門員を配置して、40件の計画作成をする予算がつき、富坂拠点が令和3年10月から新たな計画相談をスタートさせる。

②自立支援協議会関連 ※小川は傍聴

日程	会議名	参加者	日程	会議名	参加者
8/4	第1回自立支援協議会 親会	1名	9/14	第1回相談支援専門部会	1名
8/14	相談支援専門部会打ち合わせ	1名	12/4	第2回地域生活支援専門部会	1名
9/4	第1回地域生活支援専門部会	2名	3/30	第2回自立支援協議会 親会	1名

コロナの影響もあり、8月から会議体が始まっているが、後半は再度緊急事態宣言が発令され中止や書面開催やZoomで開催されている。相談支援専門部会において、一般的な相談ができるところがないとの文京区の解答の一つとしては、「拠点」が一般相談の一部を担うこと、委託の相談支援など拠点以外の新たな事業の立ち上げは予算の説明が難しいとの説明もあり、「拠点」に対しての期待が高まっている。

(2) 研修

日程	研修名	参加者
4~8月	東大病院研修生と合同研修	1名
9/3	このは合同研修「意図的な面談・対話の法則」	1名(講師)・1名
12/7・8	サービス管理者研修 教室進行	1名

東京都の研修等は、コロナウイルスの影響で中止になり、上半期に研修はほとんど参加することができなかったが、一部新人向け研修はオンラインで実施している。

Ⅳ. 課題と今後

計画相談支援自体の認知度が広がり、保健師からの相談が増加している。計画相談に繋がれば、サービス調整以上の生活支援もやってくれるとの認識があるので、マンパワーを必要とするケースの紹介が多く、マンパワーを必要とする人をどの程度引き受けるのか、貢献度と経営的な面のバランスが課題である。また、計画相談に関する研修に参加できていないことから、令和3年度は研修の情報収集・積極的な参加で質の向上を図りたい。

区全体で相談業務に関わる支援者が疲弊していて、休職する方も多く、支援者のメンタルヘルス・支援者を支える視点を持ち、支援者が元気になれることも念頭に置いての業務も必要と感じている。

※参考資料 令和元年度(平成31年4月～令和2年3月)の動き

	計画	モニタ	合計	面談・訪問	ケア会議・連携	同行	計	TEL
4月	9	14	23	49	4	7	60	76
5月	8	16	24	46	6	4	56	87
6月	3	18	21	46	7	4	57	87
7月	9	18	27	49	5	3	57	44
8月	6	15	21	44	5	6	55	48
9月	9	14	23	37	5	2	44	51
10月	6	17	23	47	4	7	58	77
11月	7	14	21	43	3	7	53	70
12月	10	18	28	53	3	3	59	51
1月	9	13	22	48	5	3	56	75
2月	8	9	17	39	8	5	52	79
3月	7	9	16	53	4	4	61	120
合計	91	175	266	554	59	55	668	865